

道徳授業と道徳的実践の

指導と充実を通して

四万十市立中村南小学校

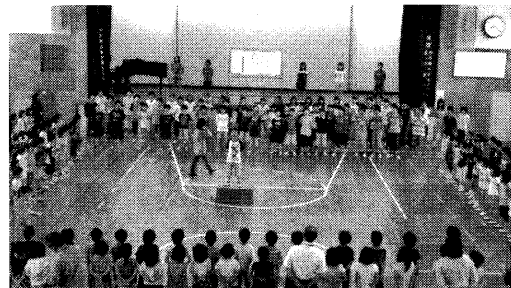
校長 徳弘純一 学級数 十 生徒数 二一六名

中村南小学校は、平成22年度より高知県教育委員会の「道徳教育重点推進校事業」の指定を受け、3カ年の研究実践に取組んできた。研究主題を「自己をみつめ 関わりながら さらり輝く心をもつ子どもの育成」道徳授業と道徳的実践の指導の充実を通して」として、これまで研究実践に精励し、校内指導体制の構築や道徳授業の質的向上を図り、他の学校にも研究成果を広く発信し、道徳教育の推進と普及に努め、心豊かな児童の育成につなげている。

また、指導力・授業力向上を組織的に行い、校内授業研究や公開授業研究会等を開催している。事前研究では、各学年団での資料・指導案づくり等々に励んでいる。



児童はいきいきと道徳授業にのぞみ、道徳資料を通して自分の考えや思いを述べ、友達や先生、ゲストティーチャーの話から、豊かな心を育む学びを続けている。



子ども達の元気で潤いのある歌声が、快く響き渡る音楽朝会。他に児童朝会、体育朝会、保健・給食朝会等、全校児童と教職員が心を一につに取組んでいる。

また著名な外部講師を招聘したり、西部教育事務所指導主事による定期的な学校訪問を行ってもらい、教員の授業実践力向上に向けた取組みを行っているところである。

校内での具体的な取組みとしては、豊かな人間関係を育む教育活動として、全校朝会活動を創意工夫し、それぞれの意図と目的を持った活動を日々展開している。また、縦割り班活動や児童会活動でのリーダー育成、Q-Uアンケートを活用したきめ細かい児童理解、多彩な体験活動等を行って、学年や学級集団を育成するなど、どの教育活動も教育目標や研究主題の実現に向けて意図的に推進されている。

(四万十市教育委員会推薦)

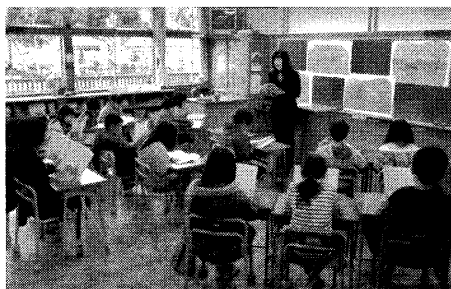
規範意識を育む道德教育の推進

須崎市立吾桑小学校

校長 橋本郁夫 学級数 六 生徒数 六九名

須崎市立吾桑小学校は、平成21・22年度の2カ年にわたり文部科学省の「道德教育実践研究事業」の指定を受け、子どもたちの心に響く道德教育の在り方を研究し、「規範意識を育む道德教育」を目指し、家庭・地域と連携し、推進してきた。

本校では、命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の



道德教育参観日に、よわむし太郎について勉強する子どもたち。



地域の方をゲストティーチャーにお迎えし、竹トンボづくりを習って満足げな子どもたち。

判断などの規範意識を身につけ、道德性を高めるため、道德の授業展開の工夫はもとより、「心のノート」の効果的な活用、「道德コーナー」の設置や「ありがとう月間」の取組みなどを実践してきた。このような実践活動の中で、取組みが学校全体に広がり、子どもたちの中で明るい挨拶が増えたり、授業の中で自分の思いが出せるようになったり、子どもたちの変容が見られるようになった。

平成23年度には、地域を教材にした道德資料を地域と共に作成し、県教委作成の道德教育用郷土資料集「ふるさとの志」に採用され広く県内の学校で使われている。

この資料を教材とした参観授業を、道德参観日に実施したところ、参観した保護者・住民の方から「はじめて道德の授業を見たが、子どもたちの心の成長を感じた。命の大切さがわかってるので、家族や友人の命も大切にしてほしい。」といった声を聞くなど、学校と地域が結びついた取組みとなっている。

また、本校の道德教育が、公民館便りを通して広く地域に紹介され、更なる地域教材づくりにも、地域や家庭から協力が得られるようになり、地域に根ざした学校づくりの原動力となっている。

(須崎市教育委員会推薦)

東部エリアの拠点校として

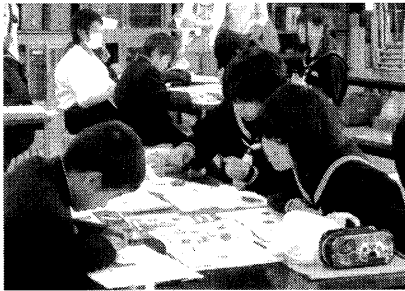
安芸市立清水ヶ丘中学校

校長 竹崎義秀 学級数 十 生徒数 二〇六名

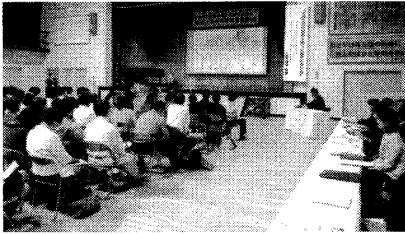
本県においては、平成24年度からの中学校学習指導要領の完全実施に伴い、各中学校に於いて学習指導要領の目的や内容を理解し、授業展開や指導方法を見直すことが求められた。

このため、平成21年度から3年間、改定を見据え、教科経営や組織的なOJTの在り方について研究を進める中学校を各エリアに指定し先進的な取組みを進めてきた。

安芸市立清水ヶ丘中学校は、東部地区の中核として、新教育課程の研究に取組み、先進的な役割を果たしたところである。



課題解決のための話し合い活動(言語活動の充実)



平成23年度研究発表会 全体会

る。県下にもその研究成果を積極的に発信し、普及に努め、中学校教育の質の向上に大きく寄与したところ

ろである。

取組みの内容としては、

1 研究の内容

- (1) 新教育課程への移行措置を踏まえた教科等の経営計画
- (2) 授業作り
- (3) 組織的なOJTの在り方

2 研究の方法

- (1) 文献研究
- (2) 授業研究

(3) 県外視察研修(毎年岐阜市立陽南中学校)

(4) 授業改善の進捗度チェック

(5) 組織体制の見直し

3 研究の成果

(1) 作成物(教科経営案やその立て方・授業方法等)

(2) 生徒の学力の変化(全国学力・学習状況調査結果等)

4 研究の成果普及(研究発表会や作成物の配布・講師としての出張数等)

(1) 県下全域

(2) 安芸市教育委員会所管の学校への広がり

以上のように本校では、明確なビジョンのもと、子どもたちが目標を持っていきいきと生活できる学校づくりを目指した教育実践と研究が進められている。

(安芸市教育委員会推薦)